

平成30年（2018）9月3日～6日

平成30年度（2018）

第2回出雲市議会(定例会)
一般質問通告一覧表

平成30年度（2018）第2回出雲市議会（定例会）
一般質問通告一覧表 目次

9月3日（月） 10:00 開会			9月4日（火） 10:00 開会			9月5日（水） 10:00 開会			9月6日（木） 10:00 開会		
順番	議員氏名	ページ	順番	議員氏名	ページ	順番	議員氏名	ページ	順番	議員氏名	ページ
1	伊藤 繁 満	3	1	玉 木 満	11 ～ 12	1	湯 浅 啓 史	20	1	板 垣 成 二	28
2	錦 織 稔	4	2	後 藤 由 美	13 ～ 14	2	保 科 孝 充	21	2	本 田 一 勇	29
3	岸 道 三	5	3	大 場 利 信	15	3	川 光 秀 昭	22 ～ 23			
4	飯 塚 俊 之	6	4	西 村 亮	16	4	板 倉 一 郎	24			
5	多々納剛人	7	5	児 玉 俊 雄	17	5	宮 本 享	25			
6	板 倉 明 弘	8	6	大 谷 良 治	18	6	神 門 至	26			
7	勝 部 順 子	9	7	原 正 雄	19	7	萬 代 輝 正	27			
8	福 島 孝 雄	10									

質問者	19 伊藤繁満		
質問事項・質問内容		答弁を 求める者	記事
(1) 次世代農業の展開と持続可能な農村社会について伺う			
<p>① 出雲市まち・ひと・しごと創生総合戦略では2020年の人口推計を169千人としています。特徴的なのは出雲地域、斐川地域は増加し、以外の地域では軒並み減少しています。この傾向は更に進化するものと想定されます。</p> <p>本年5月に国は平成29年度食料・農業・農村白書を公表しました。今回の農業白書は人口減、高齢化、担い手不足の状況下において、49歳以下の若手農業者が活躍している実態を初めて調査し公表いたしました。国においては「農林水産業・地域の活力創造プラン」において農業を成長産業とし、農業者の所得向上に向けた改革を展開としています。</p> <p>現在、出雲市において農家、JA、市等の機関で農業振興に関し取り組みがされていますが、現状と今後の展開について伺います。</p> <p>ア 出雲・斐川地域農業再生協の取り組みと現状について伺います。</p> <p>イ ICT農業の推進について取り組みの現状と課題を伺います。 ◎全国の取り組み事例から経営規模の拡大、農家所得の増大の必要性 圃場区画の再編と大区画化、散居集落の電線地中化により作業効率の向上 異常気象時代に対応した作物と2年3作水田フル活用の推進</p> <p>ウ 農工連携とスマート農業実現で近隣諸国向け輸出の展開について伺います。 ◎生産性向上をAI（人工知能）とIOT（モノのインターネット）の活用・GPSの利用 大型農家と誘致企業とのマッチング、国内需要から海外へシフト</p> <p>エ 農業改革特区による斐川地域の農業について伺います。 ◎担い手集積率80.6% 耕地利用率119.2% ハトムギ生産量全国第4位（140t. 90ha）⇔医療分野との提携</p> <p>オ 持続可能な農村社会の構築について伺います。 ◎居住環境と生産基盤の維持向上、地域共同活動</p>		市長	

質問者	7	錦 織 稔		
質問事項・質問内容			答 弁 を 求める者	記 事
(1) 障がい者のスポーツ活動の推進について			市民文化 部長	
① 出雲くにびきマラソン大会について ア 障がい者のスポーツ推進の考え イ 車いすマラソンを種目に追加する考えはないか伺う				
(2) 水害時の避難計画について			防災安全 担当部長	
① 水害防止対策と避難について ア 斐伊川河床の安定のための対策 イ 宍道湖の水位の上昇による洪水予報の判断 ウ 避難時の交通渋滞の対策 エ 浸水想定表示板の設置 ② 意識啓発の推進について ア 防災意識啓発のための研修等の実施状況 イ マイタイムラインの普及				

質問者	10 岸 道 三	答 弁 を 求 め る 者	記 事
質 問 事 項 ・ 質 問 内 容		答 弁 を 求 め る 者	記 事
(1) 公共施設の更新問題に対する取り組みについて		市長	
<ul style="list-style-type: none"> ① 2年間で延床面積削減の実績および今後の見通し ② ファシリティマネジメントを取り入れるにあたっての留意点 ③ 市民への浸透度、理解度を深める取り組み 			
(2) 交流人口1200万人確保に向けた現状と課題について		市長	
<ul style="list-style-type: none"> ① 交流人口1200万人を確保していくための重点課題 ② 市内宿泊者数を増やす取り組みと課題 ③ インバウンド観光の現状と課題 ④ 3つのプロジェクトの事業内容と期待される効果 ⑤ FDA新規就航と観光列車「あめつち」による効果と期待 			

質問者	21	飯塚俊之	
質問事項・質問内容		答弁を 求める者	記事
(1) 空き校舎（校庭、体育館を含む）の利活用について		教育長	
<ul style="list-style-type: none"> ① 空き校舎（校庭、体育館を含む）の現状 ② 空き校舎（校庭、体育館を含む）を利活用する際の手順 ③ 空き校舎（校庭、体育館を含む）の利活用策についての進捗状況 ④ 今後の取り組み 			

質問者	25 多々納剛人	
質問事項・質問内容		答弁を 求める者
(1) 災害時の要支援者の支援体制整備の進捗状況		
<p>① 平成28年度までの前期総合計画から後期5か年計画が始まった。災害時の危機管理体制の強化は近年の自然災害発生状況から、その対応は急がれる。</p> <p>出雲市では各地区災害対策本部等へ避難支援が必要な方の名簿（避難行動要支援者名簿）の提供や個別計画（要支援者ごとの避難支援計画）の作成を、前期計画を踏まえて行っているが、名簿など情報提供の状況と個別計画作成状況を伺う。</p>		市長
(2) 農業・農村がもつ魅力と定住対策		
<p>① 出雲市の基幹産業である出雲市農業の現状は、農地の集積による規模拡大や大型機械の導入、基盤整備など、生産性と所得の向上を図る経済的施策が展開されており、経済面からみると儲かる農業は魅力ある産業となります。そして、第一義的には、それを支援することは行政の役割だとも考えます。しかし、農村がもつ魅力や役割はそれだけではありません。近年都市住民（Uターン者を含む）の間では、農村における豊かな自然環境とともにゆとりある心豊かな生活に関心が高まっている。その魅力はそこに住む人々が築き上げてきた「農村らしさ」にあるとされています。</p> <p>国の農業の改革にともない、農業の生産性や所得向上ばかりに目が向けられ、本来農業・農村がもつ「農村らしさ」が急激に失われつつあり、現状を危惧するばかりです。</p> <p>近年は、規模の経済に代わる価値観に目覚め、田園回帰をすすめる若い世代も目立つようになりました。農村がもつ協働精神や相互扶助など農村コミュニティ特有の社会関係が「農村らしさ」であります。多様な価値観の中ではありますが、良好な社会関係を構築するうえで「農村らしさ」を生かし、農村に居住することの社会的評価を高めることが重要であり、その施策が必要ではないかと考える。</p> <p>ア 市長の所感を伺う。</p> <p>イ 農業、農村がもつメリットの評価を行い、広くアピールを行う必要があるのではないかと考える。</p> <p>ウ 市街地周辺は農村の混住化が進展しており、農地の集積が困難な状況が見られる。出雲の「農村らしさ」を維持するために小規模農家の支援（兼業維持）も重要であると考えているが所感を伺う。</p> <p>エ 農村の土地利用については、農業的観点からの優良農地の確保だけが重要な訳ではなく非農用地も含めて、全体の土地利用について総合的に適正化を図っていくことが必要であると考えているが、総合的な土地利用計画の策定について伺う。</p> <p>オ 農村へのU・Iターン者・田園回帰の現状を伺う。</p> <p>カ 総務省地域おこし協力隊の出雲市での実績について伺う。</p>		市長

質問者	28 板倉明弘		
質問事項・質問内容		答弁を 求める者	記事
(1) 学校を取り巻く課題について			
<p>① 学力・学習状況調査の結果について伺う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ア 学力を高める施策 イ 学習状況調査の結果は ウ AIなどの最先端技術を教育に生かす実証実験について <p>② 学校設備について伺う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ア トイレの洋式化の達成率は イ エアコン設備の達成率は ウ 校庭の芝生化の達成率と施策は エ 古いプールの対応は 		教育長	

質問者	29 勝部 順子	
質問事項・質問内容		答弁を 求める者
(1) 災害対応型カップ式自動販売機、設置について		
<p>① 本年7月に、西日本を中心に降り続いた今回の記録的な大雨は、気象庁が「平成30年7月豪雨」と命名。13都道府県で96人の方がお亡くなりになりました。</p> <p>広島県呉市の天応市民センターには、「災害対応型カップ自販機」が直ちに設置され、避難された方や、ボランティア活動で来られた方たちに大変喜ばれたと伺いました。</p> <p>特に、お子さんを連れてお母さんたちから、感謝の声があったと伺いました。</p> <p>平成29年度（2017）第5回出雲市議会（定例会）で防災安全担当部長から、前向きな答弁を頂きました。</p> <p>その後の、検討状況を伺います。</p> <p>何時、災害が起きるか分からない現在、いざという時の市民の皆さんのために、ぜひとも設置していただくことを願います。</p>		市長
(2) 市内の教育現場のエアコン設置の現状と、今後の取り組みについて		
<p>① 7月31日付けの山陰中央新報に、島根県内の公立小中学校のエアコン設置の状況が掲載されました。</p> <p>出雲市の設置状況は、小学校は4.9%、中学校は71.9%設置と報道されました。</p> <p>小中すべての普通教室に整備されたのは、安来市、川本町、西ノ島町、知夫村の4市町村のみです。</p> <p>報道によりますと、安来市は14年度から4年計画で、業務用に比べて設置費が3分の1～5分の1程度の家庭用機器を小中学校22校で導入。他の自治体でも動きがあります。</p> <p>今年の夏は、思った以上に暑く体に応えます。</p> <p>学校現場の、エアコン設置は重要な課題と考えます。</p> <p>出雲市の現状と今後の考えを伺います。</p>		教育長

質問者	15 福島孝雄		
質問事項・質問内容		答弁を 求める者	記事
(1) 危険ため池の防災対策について			
<p>① 今回の西日本豪雨災害を受けての危険ため池の対策について</p> <p>ア 出雲市のため池調査の現状を伺う。</p> <p> a 地域別のため池の数。</p> <p> b その内、調査対象ため池の数。</p> <p> c 危険ため池（防災重点ため池）の数。</p> <p> d 廃止予定ため池の数。</p> <p>イ 防災重点ため池の整備に掛かる、おおよその事業費を伺う。</p> <p> a 貯水量別の事業費。</p> <p> b 受益者負担（1%）について、非農家の捉え方。</p> <p>ウ 防災重点ため池のハザードマップ作製と公開の現状を伺う。</p> <p> a 対象ため池周辺地域への周知。</p> <p>エ 防災重点ため池の整備に向けての取り組みについて伺う。</p> <p> a 対象地域の受け止めの現状。</p> <p> b 地権者・耕作者・被害対象地域の関係。</p> <p> c 市としての今後の取り組み。</p> <p> d 受益者負担の軽減の考え。</p>		市長	
(2) マイナンバーカードの普及について			
<p>① マイナンバーカードの普及が低迷している理由を伺う。</p> <p>② 現在の出雲市に於けるマイナンバーカード活用（公的サービス事例）を伺う。</p> <p>③ 出雲市が目指すマイナンバーカードの活用範囲を伺う。</p> <p> ア 計画があれば、今後のスケジュール</p> <p>④ 出雲市が考える、今後のマイキープラットフォーム利用の構想について伺う。</p> <p> ア 住民活動支援・高齢者の生きがいつくり・地域での消費拡大等に向けての自治体ポイント活用の考え。</p> <p> イ 公共施設利用カードとしての活用の考え。</p> <p> ウ 将来的に、各種買い物ポイントの集約（クレジット会社からのポイント移行）による「消滅ポイント」の解消に向けての活用の考え。</p>		市長	

質問者	2 玉 木 満	答 弁 を 求 め る 者	記 事
質 問 事 項 ・ 質 問 内 容			
(1) 空家の増加を防ぐ対策は		財政部長	
<p>① 空家等対策の推進に関する特別措置法に基づく、出雲市空家等対策計画によって、空家の利活用を含めた施策が進められているが、空家が増加した背景には、固定資産税及び都市計画税における住宅用地の特例が大きく影響していると思われることについて伺う。</p> <p>ア 出雲市空家実態アンケートから、空家の所有・管理について</p> <p>a 空家と回答された755件の固定資産税及び都市計画税の税額は</p> <p>b aにおいて、住宅が滅失し、住宅用地の特例が適用されなくなった場合の税額は</p> <p>c 1件あたりの税額増減率及び増減額は</p> <p>イ 出雲市空家実態アンケートから、空家の今後の利活用について</p> <p>a 最も多い群は「予定なし」であることに対する市の見解は</p> <p>b 空家の増加を抑制する方法として、解体及び処理費用の助成は</p> <p>c 相続登記がなされていないことも増加要因と考えるが対策は</p>			
(2) 成年年齢の引き下げによる影響		総務部長	
<p>① 2022年4月1日施行、民法の一部を改正する法律により、成年年齢が引き下げられることが決定した。さらなる若い人の社会参加が期待される一方で、生活基本法である民法の改正により混乱を招くことが予想される。出雲市では今後どのような検討や対策を行うか伺う。</p> <p>ア 2022年4月1日に新成人となる見込み人数について</p> <p>a 新成人となる人数</p> <p>b 19歳で新成人となる人数（現在の高校1年生）</p> <p>c 18歳で新成人となる人数（現在の中学3年生）</p> <p>イ 2022年度に新成人となる見込み人数について</p> <p>a 2022年4月2日から2023年4月1日までに18歳を迎える人数（現在の中学2年生）</p> <p>b 新成人となる人数</p> <p>c 2021年度に新成人となる人数との比較</p> <p>ウ 拡大が懸念される消費者被害などへの教育や広報について</p> <p>a 消費者教育の現状</p>			

<ul style="list-style-type: none"> b 親権者等への教育及び広報 		
<ul style="list-style-type: none"> c 市民全体への広報 		
<ul style="list-style-type: none"> エ 出雲市が主催する成人式について 		
<ul style="list-style-type: none"> a 近年の開催及び出席状況 		
<ul style="list-style-type: none"> b 今後の開催方針 		
<ul style="list-style-type: none"> c 成人式に関する広聴及び広報 		

質問者	4 後藤由美	答弁を 求める者	記事
質問事項・質問内容			
(1) 災害時の「被災者生活再建支援金制度」の拡充について			
<p>① 4月の県西部地震や7月の西日本豪雨災害などで、県内も多くの被害が出ました。いつどこで災害が起きるかわかりません。これからは台風も予想されます。最近の災害を通じて、特に急がれる問題点について伺います。</p> <p>ア 4月9日の県西部地震の被災状況を受けて、県は被災住宅の再建の支援対象を、それまで全壊と大規模半壊までだったものを半壊と一部破損に拡大しました。市としてもこれに対応して「生活再建支援金支給事業実施要綱」を策定されました。しかし、一部破損は損害割合が10%～20%であり、10%未満は対象外です。この部分を市として独自に支援を行うよう制度の創設を求めますが、所見を伺います。</p> <p>イ 4月9日西部地震での被害は市内の現住家屋だけでも44軒ありました。しかし支援金の対象世帯はゼロでした。理由は一部破損が10%未満だったからです。家屋の被害については、被災者の訴えを反映した住まいとしての機能に着目した認定をおこない、親身な支援を行うべきだと考えますが所見を伺います。</p>		市長	
(2) 「防災ハザードマップ」の周知徹底について			
<p>① 出雲市は今年「防災ハザードマップ」を3年ぶりに改訂し、全戸配布されました。大雨などによって浸水が想定される区域はどこなのか、土砂災害による危険性がある区域はどこなか、また指定緊急避難場所なども掲載されています。そこで伺います。</p> <p>ア 7月の西日本豪雨災害は「防災ハザードマップ」などで想定していたのとほぼ一致した浸水や土砂流入がありましたが、被害が拡大し、人命が守られませんでした。今回、マップを全戸配布されましたが、これを生かした防災・減災対策、防災教育・市民への啓発が欠かせません。取り組みの強化を求めますが、所見を伺います。</p> <p>イ 「防災ハザードマップ」には「防災重点ため池」と呼ばれるいわゆる危険なため池も記載されています。西日本豪雨災害はため池でも人災があり、これを契機に再度、全国でため池の点検が行われており、市内も8月中に行われました。この結果を公表し、危険で被害が起こる可能性があるところを周知すべきと考えます。所見を伺います。</p> <p>ウ ため池は農家にとって大切なものですが、中には「使わないから廃止したい」という方もいます。しかし廃止にかかる経費のうち1%は受益者負担となっており、この負担が重く踏み切れないケースがあります。受益者負担のあり方について、市としてどうすべきか考える時ではないでしょうか。所見を伺います。</p>		市長	

<p>(3) 学校の熱中症対策とプール改修について</p>	
<p>① 学校教育環境について伺います。</p> <p>ア 学校教育環境の整備は子どもの成長・発達を保障する大事な仕事であり、自治体の重要な仕事の一つであると考えますが、市の認識を伺います。</p> <p>イ 熱中症対策（幼・小・中のエアコン設置）について</p> <p>a 2学期も暑い日が続くことが予想されます。児童・生徒が安全に学習できるよう、熱中症対策が欠かせません。授業中に児童・生徒が水分や塩分を補給できるような配慮などを、今以上にとるべきです。所見を伺います。</p> <p>b 今夏は記録的な酷暑となり、気象庁は災害ととらえた対策が必要とよびかけました。市内でも連日の猛暑で、学習に集中しにくい、食欲がないなど深刻な事態がおきました。一刻も早くすべての幼稚園・小学校・中学校の教室と体育館にエアコンの設置が必要です。政府は来年の夏までにすべての公立小・中学校にクーラーを設置する方針を固めたとの報道もありますが、市としてどう具体化されるのか伺います。</p> <p>ウ 老朽化したプールの改修について</p> <p>a 市内で最も古いプールは稗原小学校で1970年（昭和45年）建設です。所々補修がされていますが、子どもたちが足の裏をけがするなど、決して安全とは言えない状況が続いています。子どもたちが安全なプールで学べるように改修・修繕するべきと考えますが、所見を伺います。</p> <p>b 市の「学校施設整備耐震化基本計画」に「小中学校プールの設置状況と今後の整備の方向性」が示されています。「改築は原則として40年以上経過し、老朽化した場合に行う」「新改築は原則として普通学級12学級以上の小中学校を対象に行う」とあります。小規模校の施設整備を後景に追いやるものではないでしょうか。見直すべきと考えますが、所見を伺います。</p>	<p>市長</p>

質問者	18 大場利信		答弁を 求める者	記事
質問事項・質問内容				
<p>(1) 小学校の普通教室へのエアコンの早期完全設置について</p> <p>① 近年の猛暑対策として、小中学校の普通教室へのエアコン設置は急務と考えます。今年度予算で小学校へのエアコン設置のための予算が計上されていますが、これに関し以下伺います。</p> <p>ア 未設置の中学校4校へのエアコン設置状況を伺います。</p> <p>イ すべての小学校31校へのエアコン設置のための実施設計を今年度行うこととされていますが、現時点の進捗状況および設置見込台数について伺います。</p> <p>ウ 児童・教職員の健康面および学習能率の向上の観点から、来年夏までに31校の普通教室へのエアコン設置の工事を完了さすべきと考えますが、決意を伺います。</p>		市長		
<p>(2) ミュージカル「あいと地球と競売人」の出雲市での実施について</p> <p>① 近年の猛暑や線状降水帯の発生、はたまた台風が東からやってくるなど想定外の異常気象や気候変動、ひいては地球温暖化に漠然とした不安を感じるのは私一人ではないと思います。</p> <p>地球環境の危機を訴える漫画「地球の秘密」を書いたのちに急逝された出雲市斐川町出身の坪田愛華さんのミュージカル「あいと地球と競売人」が5年ぶりに復活し、今年度は松江市美保関町七類のメテオプラザで実施されます。このミュージカルは、県民参加型の文化活動として、「地球環境を大切にしよう」との環境保護意識の向上、子どもの教育、文化振興の観点から大きな意義があると考えます。このような観点から、以下伺います。</p> <p>ア 出雲市として、このミュージカルの意義と波及効果をどのように認識しておられるのか所見を伺います。</p> <p>イ このミュージカルには多くの小中学生がエキストラ出演し、演技を通して、地球環境保護の意識の涵養と学校では得られない多くのことを学び得ていると聞いております。教育上の効果（将来の人材育成）についてどのように認識しておられるのか伺います。</p> <p>ウ 1994年3月に出雲市で初めて公演され、島根県、全国へと広がって行き県民の財産となっています。当時エキストラで出演した小中学生も今は社会人となり、このミュージカルを支えて来ています。実施体制づくりや資金、エキストラ募集や演出づくりなどの課題に向きあいながら、出雲市で実施して欲しいとの市民の方の声を踏まえ、坪田愛華さんの出身地の出雲市で、実施されるよう提案します。これの意向を伺います。</p>		市長		

質問者	17 西村 亮		
質問事項・質問内容		答弁を 求める者	記事
(1) 有害鳥獣対策と今後の課題			
<ul style="list-style-type: none"> ① ニホンシカの生息頭数（北山山地、湖北山地） ② 年度別捕獲頭数（北山、湖北、オス、メス） ③ 年度別被害状況と課題 ④ 鳥獣被害対策出雲連絡会議の意義 ⑤ 各種講習会狩猟免許取得等の助成 ⑥ 金網柵防護ネット、電気牧柵の設置状況 ⑦ 防護柵に関する申請、期限、新設、更新を詳細に ⑧ 猪、ヌートリアの被害状況 		市長	

質問者	6 児 玉 俊 雄		
質問事項・質問内容		答 弁 を 求 め る 者	記 事
(1) 地籍調査の促進について		市長	
<p>① 地域別の進捗状況を伺う。(平野部、山林部別の状況も併せて)</p> <p>② 今後のスケジュールを伺う。</p> <p>③ 国土調査事業予算の推移と今後の見通しを伺う。</p> <p>④ 国県予算確保のためのこれまでの取組みと今後の対策を伺う。</p> <p>⑤ 森林整備地域活動支援対策事業や森林環境譲与税等により、積極的に山林部の地籍調査の基礎資料を収集する考えはないか伺う。</p>			
(2) 公共施設の有効活用について		市長	
<p>① 事務事業の見直しや公共施設のあり方指針により、廃止または空き部屋ができた次の施設について現状と今後の対応を伺う。</p> <p>ア ビッグハート (ジョブステーション出雲跡)</p> <p>イ 平田福祉館 (平田サービスセンター跡)</p> <p>ウ 出雲プール</p> <p>② 公共施設のあり方指針において、管理運営の改善が必要とされた次の施設について現在の取組状況と今後の見通しを伺う。</p> <p>ア スサノオホール</p> <p>イ 国際交流会館</p> <p>ウ 出雲ドームクラブハウス</p> <p>エ 斐川農村ふれあいセンター</p>			

質問者	9 大谷良治		
質問事項・質問内容		答弁を 求める者	記事
(1) ヘルプマークについて		健康福祉 部長	
① ヘルプマーク（カード）の交付実績 ② 今後の取り組み			
(2) 移植医療への理解と啓発について（ドナー登録・意思表示への 推進）		健康福祉 部長	
① 臓器提供意思表示カードについて ア 移植医療への普及啓発と理解を深める取り組み ② 献血と移植医療への啓発について ア 骨髄バンクへのドナー登録数と提供者数 イ 現在の取り組みと今後の方向性 ウ ドナー助成制度について			

質問者	16	原 正 雄		
質問事項・質問内容			答 弁 を 求める者	記 事
(1) 新体育館建設について			市長	
① 総事業費について ア 財源 イ 総事業費 ② 建設スケジュールについて ア 大手コンサルタント等の計画立案のプロポーザルは考 えないのか イ 市民参画の計画立案は考えないのか。 ③ P F I について解り易く説明下さい。				

質問者	11	湯 淺 啓 史		
質問事項・質問内容			答 弁 を 求 め る 者	記 事
(1) 小学校の英語教育の早期化、プログラミング教育の必修化への対応を問う			市長	
① 2020年から始まる次期、新学習指導要領によって、小学校の英語教育の早期化、プログラミング教育の必修化が行われる。 ア 小学校の英語教育の早期化、プログラミング教育の必修化について a 具体的にどのような事が望まれているのか b 出雲市は、どう捉え、どのように教育現場で実施しようとしているのか c 出雲市の対応と検討はどのような状況か d 人的対応として、外部人材の活用を含めた検討はされているのか				
(2) 成人年齢が18歳に引き下げられる民法改正について			市長	
① 民法が改正され、2022年4月から成人年齢が18歳に引き下げられる ア 成人年齢が18歳に引き下げられることにより社会的にどのような変化があるのか イ 市の施策や行事等において、成人式ほか、具体的にどのような影響を受けるのか ウ 現在の出雲市の対応、検討はどのような状況か				

質問者	20 保科孝充	答弁を 求める者	記事
質問事項・質問内容			
(1) 6月議会の子どもの医療費負担軽減に関する陳情不採択について		市長	
<p>① 平成29年11月21日に提出された「子どもの医療費負担軽減に関する陳情」は12月議会・3月議会での2回の継続審議を経て、6月議会では不採択となりました。市当局としてはこの議決について、どう思われますか。また、今後の対応についてどう考えますか。</p> <p>ア 陳情が2回の継続審議を経て不採択と議決されたことに対しての、執行部としての感想</p> <p>イ 平成30年6月7日の日本経済新聞の記事では、今年4月時点での全国市区町村の実施状況が報道されました。実態はどうですか。</p> <p> a 小学校で、負担を何らかの形で軽減している状況</p> <p> b 中学校で、負担を何らかの形で軽減している状況</p> <p>ウ 議会の動向を注視していくとされていた、執行部の今後の対応</p>			
(2) 死亡手続きの簡略化は出来ないか		市長	
<p>① 今年の3月20日過ぎに市民課の窓口付近で、主人を亡くし、その手続きにこられた斐川の一市民から、死亡手続きの簡略化は出来ないかというご意見を聞きました。7月26日のテレビ放送で、大分県別府市では、手続きを「おくやみコーナー」でまとめて申請し、簡略化を図っていると報道されました。各自治体でもその動きがあるようですが、出雲市でもできないか伺います。</p> <p>ア 死亡した場合、手続きにどの程度の時間等がかかるか。</p> <p> a 何階の、どの課に手続きをする必要があるか。</p> <p> b 本所あるいは、支所別に概ねどの程度の時間を必要とするか。</p> <p>イ 本所と支所での手続きについて。</p> <p> a 本所と支所での申請手続きの比率（各地域ごとに）</p> <p> b 平成31年4月から、機構改革があり支所機能が変更予定だが、死亡手続き等の申請等は大きく変わることはないか。</p> <p> c 変わりが無いとすれば、市民へ対しての広報・啓発はもっとすべきと思うが。</p> <p>ウ 簡略化実施へ向けての考え方</p>			

質問者	5 川 光 秀 昭	
質問事項・質問内容		答 弁 を 求 め る 者
(1) 新体育館の建設場所の決定の経緯について		
<p>① 平成30年度第1回定例会の文教厚生委員会で新体育館建設の場所を決定したとの報告がありました。情報公開により得られた、「新体育館建設候補地比較検討資料収集業務報告書（以下、比較検討報告）」と「新体育館建設庁内検討委員会（以下、庁内検討委員会）会議資料」及び平成29年度第5回定例会、平成30年度第1回定例会で議会に報告された資料から、県立大学出雲キャンパス東側（以下、県立大学東）について以下の疑問が生じたので質問します。</p> <p>ア 第6回庁内検討委員会（第3回中間報告の検討）の資料と平成29年度第5回定例会で報告された第3回中間報告での各候補地の順位が異なっていますが、第6回庁内検討委員会ではどのような議論があり評価表の項目を変更したのでしょうか。</p> <p>イ 庁内検討委員会の会議資料には、県立大学東の南側に高压線があることが記載されていますが、議会への報告では触れられていません。土地の利用に制限が生じますが、このことについてどのような議論があったのでしょうか。</p> <p>ウ 比較検討報告「6、今後の留意事項」「6-5景観への配慮」の中で、“出雲市景観条例および出雲市景観計画への対応について検討する必要がある”と報告されています。検討の内容及び結果について教えて下さい。</p>		市長
(2) 介護報酬不正の調査について		
<p>① 3月の厚生労働省の発表では、何らかの不正によって処分を受けた介護施設・事業所は2016年度は244件に上り過去最多を更新しました。島根県でも過去に5例の指定取り消しが発生しており、8月14日に処分を受けた事業所は、出雲市で発覚した不正受給を受けて松江市が監査を実施したことで判明しました。</p> <p>厚生労働省は、「事業者の不正は利用者に不利益を与えるのみならず、介護保険制度の信頼を損なう」と指摘し、「疑わしいケースを把握したら速やかに監査を実施し、不正には厳正に対処してもらいたい」と求めています。制度の改正により、これらの部分を担っているのは出雲市でありますので、介護保険制度に対する、不正の把握、監査、摘発について市の体制について質問します。</p> <p>ア 過去にも出雲市でも不正が発覚していますが、きっかけはどのような事だったのでしょか。</p> <p>イ 疑わしい事例を把握するための施策としてどのような方法が考えられますか。</p>		市長

- | | |
|---|--|
| <p>ウ 厚生労働省は、不正があった事業所の給付管理を行う居宅介護支援事業所にも監査を行って欲しいと求めています。どのような事態が考えられますか。</p> <p>エ 調査・監査を行うための人員は配置されているのでしょうか。</p> | |
|---|--|

質問者	24 板倉一郎		
質問事項・質問内容		答弁を 求める者	記事
(1) 平成30年度市政の運営状況について			
<p>① 平成30年度の市政の運営状況について、市長の所感を伺います。 施政方針に基づき市政を運営している中で、上期を終える中間地点での取り組みの進捗状況（特に、市政運営のポイントとして掲げられている3つのポイント）および、下期の力をいれることなどについて伺う。</p>		市長	
(2) 子どもの熱中症対策について			
<p>① 今年の夏は、非常に暑く、今もその状況は続いています。 毎日のように熱中症情報がだされ、命の危険に関わる暑さとなっています。この暑さは、今後も毎年続いていくと想定されています。このような状況の中で、子どもの健康・安全をどのように確保していくかが重要です。そこで、子どもに関わる次の点を伺います。</p> <p>ア この夏の熱中症の被害状況について伺う。</p> <p>イ 小中学校、幼稚園、保育園における熱中症対策の状況について伺う。</p> <p>ウ 小中学校、幼稚園、保育園におけるエアコンの設置状況および未設置個所の早期設置についての考えを伺う。あわせて、西野小学校の軽量鉄骨造りの校舎について暑さを心配する声がある。暑さ対策について伺う。</p> <p>エ 夏休みにおける学校のプールの運営状況について伺う。</p> <p>オ 夏休みの子どもの居場所について、どのように考えているのか伺う。</p>		教育長	

質問者	31 宮本 享		
質問事項・質問内容		答 弁 を 求 め る 者	記 事
(1) 出雲市都市計画マスタープランについて			
<p>① 現在の出雲市都市計画マスタープランは平成22年2月に策定され、平成25年9月には斐川地域の地域別構想が追加されました。</p> <p>策定から8年以上が経過し、この間、市民生活や社会経済活動など出雲市をとりまく状況は変化しています。</p> <p>また、都市計画道路の見直しも行われております。</p> <p>このような中、以下について伺います。</p> <p>ア 出雲市の都市づくりの現状認識と課題</p> <p>イ 成果</p> <p>ウ 今後の取り組み</p>		市長	
(2) 出雲市における健康経営の推進について			
<p>① 昨年、機会をいただき「健康経営」について学びました。</p> <p>従業員の「健康」と企業の「生産性」を同時にマネジメントする「健康経営」が、企業・組織にとって重大な「経営問題」となっており、欧米諸国や日本の一部の領域では積極的に取り組まれているようです。</p> <p>働き方改革や健康寿命の延伸が叫ばれる中、出雲市においても産業振興部局や健康福祉部局で積極的に取り組まれるべきものであると感じているところです。</p> <p>そこで、出雲市の現状と今後の意向について伺います。</p> <p>ア 健康経営優良法人認定やヘルス・マネジメント認定制度についての認識</p> <p>イ 健康経営へのインセンティブを図るための施策 (例えば、市からの融資にあたっての金利優遇や補助金の交付)</p> <p>ウ 指名競争入札にあたっての参加資格の優遇</p> <p>エ 健康経営アドバイザー制度の創設</p> <p>オ 出雲市健康のまちづくり基本計画との連携 (健康福祉部局と産業振興部局の連携)</p>		市長	

質問者	1 2 神 門 至	答 弁 を 求 め る 者	記 事
質問事項・質問内容			
(1) 出雲市新体育館の建設候補地について			
<p>① 市長は、これまでの定例記者会見で、出雲市新体育館の建設候補地について「見直す考えはない」と述べられています。新体育館の建設は1日でも早い早期実現を求めるところではありますが、新体育館の建設場所の決定と施設の運用については、これまでの議会及び全員協議会で「事業費などのコスト及び収支、立地条件、地盤の状況、洪水による避難場所、原子力発電所からの30キロ圏外の防災上の条件、既存の体育施設との連携、経済効果、観光振興、交通アクセス」など、それぞれの条件についての問題点が指摘されています。建設候補地については、住民目線により比較検討されるべきものであり、市民に対しては、丁寧な説明責任を果たすべきものと考えます。</p> <p>ア 市長の見解についてお伺いします。</p>		市長	
(2) 市有財産の管理・売却など、市の選定（審査）方法について			
<p>① 市民の大切な市有財産の管理・売却などについては、当然のごとく、透明性をもって、選定・公表すべきものと考えます。これまで、市民から市や議会に対して、市有財産の管理・売却に加え、新たに市が購入する土地や施設の建設候補地の選定方法についての陳情や請願が提出されています。市は、その選定経過など、議会はもとより、市民に対しても丁寧な説明責任を果たすべきものと考えます。こうした視点から次のことについてお伺いします。</p> <p>ア 市有財産の管理・売却の選定（審査）方法について</p> <p> a 選定委員は誰が決めるのか</p> <p> b 選定基準は誰が決めるのか</p> <p> c より透明性のある選定結果（公表）についての考え方は</p> <p>イ 新体育館の選定（審査）方法について</p> <p> a 選定委員は誰が決めたのか ※ その構成委員（メンバー）は</p> <p> b 選定基準は誰が決めたのか</p> <p> c より透明性のある選定結果（公表）についての考え方は</p> <p>ウ 次期可燃ごみ処理施設の選定（審査）方法について</p> <p> a 選定委員は誰が決めたのか ※ その構成委員（メンバー）は</p> <p> b 選定基準は誰が決めたのか</p> <p> c より透明性のある選定結果（公表）についての考え方は</p>		市長	

質問者	23 萬代輝正	答弁を 求める者	記事
質問事項・質問内容		教育長	
(1) どうなる！中学校部活動指導員配置			
<ul style="list-style-type: none"> ① 市内中学校の部活動の現状について ② 部活動を理由とした校区変更人数と種目 ③ 部活動指導員の規則等の策定状況と本年度の配置状況 ④ 来年度へ向けた増員配置への市の対応状況 ⑤ 部活動を精選する方法と具体的な考え方 ⑥ 生徒のメリットはあるのか 			

質問者	22 板垣成二	
質問事項・質問内容		答弁を 求める者
(1) 防災行政無線に関する今後の取り組みと情報伝達に関する考え方について		
<p>① 出雲市では、緊急情報伝達手段の一つとしてデジタル式防災行政無線の整備を進めており、第1期分として佐田・多伎・湖陵地域と出雲地域の乙立・朝山・稗原・上津の南部4地区、第2期分として出雲地域の他の地区、平田・大社地域の整備が平成29年度までに完了したところです。従って、斐川地域のアナログ式防災行政無線とあわせ、出雲全地域で防災行政無線が一応整備されたこととなります。</p> <p>しかし、第1期分として整備された地域では、各世帯への個別受信機が加入負担金5,000円で無償貸与されていますが、第2期分の整備では、屋外拡声子局の整備にとどまっています。</p> <p>昨年出雲市防災訓練では屋外拡声子局では情報が伝わらなかったという指摘があり、議会でも本会議をはじめ委員会等で質問がありました。執行部からは、今後、この個別受信機の設置をどうするかについては、総務省消防庁が今年度(H29)から防災行政無線等の個別受信機の標準的なモデル等のあり方に関する検討会を設置し、自治体が導入しやすい低価格な個別受信機の仕様についての検討がなされているので、その動向を注視し、今後の方針を決定していく考えであるとの答弁がありました。</p> <p>そこで、総務省消防庁での検討状況の動向をふまえ、今後の防災行政無線整備に係る現段階での考え方を以下の2点について伺います。</p> <p>ア 2期整備地域における個別受信機整備の考え方</p> <p>イ 1期整備地域における未加入世帯・事業所に対する対応</p> <p>② また、防災行政無線は緊急時のみならず、平時での行政情報の伝達手段としても使用できます。そして出雲市には防災行政無線以外にも活用できるさまざまな媒体があります。これらの媒体も勘案し、出雲市として緊急時、平時にどのような媒体で市民の皆さんに情報伝達をするのか、以下の2点について伺います。</p> <p>ア 各地域・地区において活用できる媒体と加入率</p> <p>イ アも考慮に入れ、緊急時、平時の情報伝達に関する基本的な考え方</p>		市長

質問者	8 本田一勇		
質問事項・質問内容		答弁を 求める者	記事
(1) 次期可燃ゴミ処理施設について		市長	
① 現在稼働している施設の建設費と稼働年数（交替するまでの年数）は。 ② 同じく次期施設の建設費と計画される稼働年数は。			
(2) 災害時の無線放送の内容について		市長	
① 斐伊川堤防が破堤した時の避難勧告、避難指示の放送内容を教えて下さい。			
(3) 学校給食混入物事故について		市長	
① 混入物事故の対策マニュアルがあれば、お教え下さい。			